

## 積み重ねの造形～塔～

a2200727 渡邊清哉

### <背景・目的>

私は、今まで生きて来た上での「経験」や「学んだ事」は全て自分自身の中での「積み重ね」ではないかと考えました。その経験や今までの知識を積み重ね、それらを「構築」させて今の自分は成り立っていて、今も成長している段階なのだと思います。

私は今まで経験したことのない方法や表現で作品を作ることで、自分の中にまた新たな積み重ねを作れるのではないかと考え、自分の中で自分を表したり主張できるものを作りたいと思いました。

そこで「積み重ね」や「構築」させるというイメージから、それらをコンセプトとした「自分の塔」を漆を用いて表現しようと考えました。

### <コンセプト>

「積み重ね」をイメージした塔  
それぞれ小さいパーツを作りそれを構築させる

### <制作工程>

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1: 模型による原型の検討        | 10: 加飾 (上段) |
| 2: スタイロフォームでの原型の切り出し | 11: 接着・組み上げ |
| 3: 布着せ・目摺り (各三回)     | 12: 完成      |
| 4: 下地付け              |             |
| 5: 下地への加飾 (下段)       |             |
| 6: 下塗り (中、上段)        |             |
| 7: 追い錆               |             |
| 8: 上塗り               |             |
| 9: 艶上げ (上段)          |             |

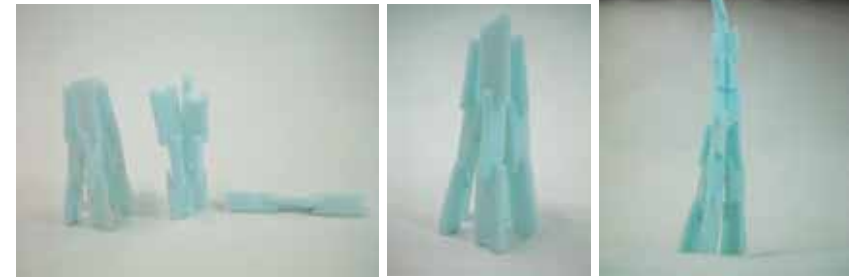
### <考察・感想>

大きな物を作るのは初めての体験だったので、自分が想像していたよりもかなり原型の切り出しや、全体のバランスの調整に時間がかかってしまった。

また、できた形に漆を塗っていく段階でも、塗った後と前では全然印象が変わってしまう事や、制作していく内に、自分自身が表現したいものや、表現方法が変わってしまう所もあった。

制作していく段階で様々な経験や、自分自身と向き合い、考えなければならない事などがたくさんあり、苦しい箇所もありましたがとても良い経験になったと思います。

この作品を通して、私も成長する事ができ、これも大きな積み重ねになったと思います。



模型での検討



スタイロフォームでの原型



布貼り・目摺り



錆付け